

# 平成28年度 事業報告書

平成28年 6月 1日から 平成29年 5月31日まで

特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン

## 1 事業の成果

ボルネオ緑の回廊をつくる事業において、2区画（4.7区画）を新たに獲得。野生動物の保護・保全を行う事業では恩返しプロジェクトによるボルネオゾウ保護施設の拡張工事を提案したほか、サバ州政府野生生物局への支援としてゾウのエサ供給支援活動を始めた。また、吊り橋で遊ぶオランウータン母子の様子を自動撮影カメラでの撮影に成功し、さらに大型哺乳類生態調査を行う長期プロジェクトも開始した。生物多様性保全に関する普及啓発活動事業では、ボルネオに造形の深い専門家や理事による講演会およびトークショーが啓発活動と会員数拡大に貢献した。

## 2 事業の実施に関する事項

### （1）特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
(1) ボルネオ緑の回廊をつくる事業	日本では土地購入のための資金調達、現地では提携NGOを通して熱帯雨林の所有者からの土地購入	通年	ボルネオ島サバ州キナバタンガン川流域	7名	自然保護に関心の高い日本国民（不特定多数）	14,086
	エコツアー	平成28年7月～8月	ボルネオ島サバ州キナバタンガン川流域	2名	エコツアー参加者（11名）	
(2) 野生動物の保護、保全を行う事業	ボルネオゾウ保護施設の拡張工事を提案、了承を得る。ゾウのエサ供給支援を開始	平成29年2月～5月	ボルネオ島サバ州キナバタンガン川流域	3名	サバ州野生生物局（300名）	8,958
	第6号吊り橋に自動撮影カメラを仕掛け、オランウータン親子の撮影に成功	通年	ボルネオ島サバ州キナバタンガン川流域	1名	自然保護に関心の高い日本国民（不特定多数）	
	セガマ川流域タビン地区における大型哺乳類の長期間生態調査。自動撮影カメラでの観察を行う。	平成28年10月～5月	ボルネオ島サバ州セガマ川流域タビン地区	3名	自然保護に関心の高いサバ州市民および日本国民（不特定多数）	
(3) 生物多様性保全に関する普及啓発事業	日本で講演会、セミナー、イベント出展など実施。理事や識者による自然環境保護・生物多様性保全活動における環境教育/啓発活動及び資料作成	通年	日本国内	10名	自然保護に関心の高い日本国民（不特定多数）	3,249